

「陽光」(大曲付近 H19年4月撮影)

写真提供:吉田博光さん(鶴川字東鵜の巣)



三種町

# 議会だより

第17号

平成22年4月15日発行

## もくじ

- ・総額147億円 当初予算 …… 2~3
- ・当初予算を問う …………… 4
- ・21年度3月補正 …………… 5
- ・6人が町政を質す ……… 6~11
- ・臨時会・請願陳情 ……… 12
- ・所管事務調査報告 ……… 13
- ・アンケート結果 ……… 14~19
- ・トピックス・編集後記 …… 20

発行:三種町議会

編集:議会広報編集特別委員会

〒018-2401

秋田県山本郡三種町鶴川字岩谷子8番地

TEL(0185)85-4831 FAX(0185)85-2178

URL <http://www.town.mitane.akita.jp/>

# 平成22年3月定例会 3月9日～12日

- 9日は、町長の行政報告と施政方針、教育民生・産業建設常任委員会の所管事務調査報告及び4名の一般質問を行った。
- 10日は、2名の一般質問を行い、各常任委員会を開催した。
- 11日は、条例の一部改正や指定管理者の指定、平成21年度一般会計及び特別会計の補正を審議し、原案どおり可決した。また平成22年度各特別会計への繰り入れ議案を審議した。
- 12日は、平成22年度一般会計及び特別会計を審議し、11日に審議した繰り入れ議案も含めて原案どおり可決した。また、追加提案となった請負契約の締結も原案どおり可決した。そのほか、請願・陳情は各常任委員長の報告どおり決定した。

## 骨格予算がベースに 予算総額 約147億円 (水道事業会計除く)

～各会計当初予算～

### 一般会計86億9,941万2千円

#### ●特別会計

区 分	金 額	区 分	金 額
国民健康保険事業勘定特別会計	24億4,423万1千円	老人保健特別会計	111万3千円
後期高齢者医療特別会計	1億7,416万2千円	簡易水道事業特別会計	2億3,675万 円
公共下水道事業特別会計	5億8,527万7千円	農業集落排水事業特別会計	4億5,718万 円
土地取得特別会計	701万7千円	介護保険事業勘定特別会計	20億4,017万6千円
介護サービス事業勘定特別会計	3,244万4千円	衛生処理事業特別会計	1,834万9千円
温泉事業特別会計	1,875万 円	国民健康保険診療施設勘定特別会計	1千円

特別会計合計額

60億1,545万円

#### ●水道事業会計

区 分	金 額
収益的収入	1億4,581万5千円
収益的支出	1億4,433万3千円
資本的収入	7,051万9千円
資本的支出	1億1,943万9千円

平成22年度 予 算																				区分	議案名	採決
国民健康保険事業 勘定特別会計予算の補正	一般会計予算の補正	公共下水道事業 特別会計への繰り入れ	水道事業会計予算	国民健康保険診療施設 勘定特別会計予算	温泉事業特別会計予算	衛生処理事業特別会計予算	介護サービス事業 勘定特別会計予算	介護保険事業勘定特別会計予算	土地取得特別会計予算	農業集落排水事業特別会計予算	公共下水道事業特別会計予算	簡易水道事業特別会計予算	後期高齢者医療特別会計予算	老人保健特別会計予算	国民健康保険事業 勘定特別会計予算	一般会計予算	農業集落排水事業 特別会計への繰り入れ	公共下水道事業 特別会計への繰り入れ	簡易水道事業 特別会計への繰り入れ			
20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	18	20	18	18	20	20	20	賛成		
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	0	0	反対		
可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	結果		

●一般会計の主な歳出

○…新規事業

区 分	金 額	区 分	金 額
○子ども手当	2億4,401万 円	・感染症等予防接種費	2,499万5千円
○小中学校校舎等耐震診断調査費	2,590万5千円	・消防団出動費	1,556万2千円
○琴丘総合支所整備事業	932万1千円	・街路灯維持管理費	2,022万3千円
○ごみ分別冊子作成	200万 円	・町道維持管理費	8,639万6千円
○非核平和都市宣言看板設置事業	68万4千円	・農業夢プラン応援事業	2,113万1千円
○森岳じゅんさいビジョン策定助成	50万 円	・水稲直播栽培等の実験ほ場設置交付金	405万 円
・松くい虫防除対策事業	6,299万 円	・担い手育成整備事業(下岩川、地先干拓、泉八日地区)	7,000万 円
・家電製品不法投棄未然防止事業	200万7千円	・山本地区むらづくり交付金事業	6,060万 円
・合併浄化槽設置補助事業	910万 円	・自動体外式除細動器設置費(6小学校へ)	179万6千円
・集団健診等診査費	3,709万4千円	・生涯学習推進事業	564万3千円
・自殺対策事業	195万1千円	・地域スポーツクラブ支援事業	95万 円
・地域福祉推進支援費	1,835万6千円	・文化振興事業(民俗芸能大会開催経費等)	119万2千円
・町民バス運行事業(鯉川、上岩川地区)	910万7千円	・自治振興費(自治会交付金、集会所施設整備費補助等)	1,255万5千円
・ふるさと雇用再生臨時対策事業	8,354万9千円	・国保特別会計への繰出金	1億6,534万3千円
・緊急雇用創出臨時対策事業	5,461万7千円	・老人保健特別会計への繰出金	8万8千円
・中小企業融資あつせん資金預託金	1億5,000万 円	・介護保険特別会計への繰出金	2億7,890万2千円
・中小企業振興資金利子補給、融資保証	1,936万1千円	・後期高齢者医療特別会計への繰出金	6,521万3千円
・住宅リフォーム助成事業	600万 円	・公共下水道事業特別会計への繰出金	2億6,768万6千円
・特別支援教育支援員設置事業	1,320万 円	・農業集落排水事業特別会計への繰出金	6,769万8千円
・財政調整基金への積立金	8,350万 円	・簡易水道特別会計への繰出金	1億 606万4千円
・はねがわ森林公園改修	204万 円	・水道事業会計への繰出金	6,259万7千円

契約	指定管理者の指定					三種町条例の改正										平成21年度予算													
	三種町多目的研修集会施設等における指定管理者の指定	三種町地区集会所等における指定管理者の指定	三種町立児童館における指定管理者の指定	三種町浜村児童公園及び三種町鹿中児童遊園地の指定管理者の指定	三種町立児童館に関する条例の一部改正及び管理に関する条例の一部改正	山本保健センターの設置	保育園保育の実施に関する条例及び児童の保育奨励に関する条例の一部改正	町民バス等運行事業	条例の一部改正	職員勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	水道事業に従事する職員の給与の種別及び基準に関する条例の一部改正	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	職員定数条例の一部改正	財政調整基金条例の一部改正	手数料徴収条例の一部改正	水道事業特別会計予算の補正	介護サービス事業	介護特別会計予算の補正	介護特別会計予算の補正	介護特別会計予算の補正	農業集落排水事業	特別会計予算の補正	公共下水道事業	特別会計予算の補正	簡易水道事業特別会計予算の補正	後期高齢者医療	特別会計予算の補正	老人保健特別会計予算の補正	
小町房住線道路改良工事(4工区) 請負契約の締結	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決

# 子ども手当に2億4千万円

## 22年度当初予算審議



下岩川保育園「おばあちゃんのお店」

**問** 子ども手当は当面1万3千円支給されると思うが、その支払い方法は。また当町の対象者は何人か。

**答** 支払いはすべて口座振替で、6月・10月・2月に支給する。対象者は1千877人と見込んでいる。

**問** 子ども手当から、給食費を差し引くことはできないか。

**答** 国では、「今後検討していく」としている。私もとしては、そうしていただければありがたい。

**問** 乳幼児就学前までの医療費無料化を、22年度においても所得制限を設けずに継続するのか。

**答** 医療費のアップも見られるが、22年度においても事業を継続するための予算措置をした。

**問** 各種団体への補助金が計上されていないが、その理由は。

**答** 骨格予算であり、各種団体等への町単独補助は政策経費という事で当初予算からは除いた。今後対応する。

**問** 乳幼児等個別予防接種・学童個別予防接種委託料がそれぞれ2倍と4倍に増えている。その中身は。

**答** 新たに開発された日本脳炎ワクチンの接種費用である。3歳から7歳半までが3回、4年生から6年生までが1回実施する。

**問** 環境衛生費委託料の水質検査費670万円計上されている。どこの水質検査なのか。

**答** 町のゴミ処理場(停止中含む)6カ所と八竜地域の旧養鶏場等の水質検査を実施する。

**問** ふるさと雇用の森岳じゅんさい産業育成事業261万円は新規事業と思うがその内容は。

**答** 森岳じゅんさいビジョン作成や、イベント等の事業を補助的に支える。商工会に委託する。

**問** 町長・町議選挙費1千732万3千円。その内容と、同日選にしたことによる経費の削減額は。

**答** 共通経費が80万円弱、それ以外では町長選が280万円、町議選が650万円ほどと積算した。

また、投票立会人が1回で済むことと、職員の時間外手当等の削減により、約670万円削減できる。

**問** 新年度の重点施策として、町独自の雇用対策を掲げているが、具体策は。

**答** 住宅リフォーム事業による雇用機会の拡大。「マル三」の資金に関する利子補給・保証料の増額による雇用の安定確保。特別支援教育の拡充による11名の雇用等である。

**問** じゅんさい摘み取り担い手育成事業が昨年度より861万円ほど増額された。21年は15名であったが、22年度は何名の予定か。また、昨年修了した人も含まれるのか。

**答** ハローワークを通じて求人し、28名の新たな雇用に結びつけたい。昨年度と同じ人を雇用することはない。



# 公共下水道事業の資金不足解消へ約6,700万円



あめふらんど

## 一般会計補正予算

**問**

山本屋内ゲートボール場の使用料が減った原因は。また、同じ体育施設でも有料・無料がある。統一した基準はあるのか。

**答**

主に町民が利用したためである(今年度から町民は無料のため)。また、行財政推進計画の中には、町有施設の使用料などの徴収基準を設けることを記してあるので、担当課等と協議して検討していく。

**問**

は。

生活バス路線維持補助金の減額理由

**答**

当初予算は昨年の実績ベースで計上していた。今年度はバス会社の経常欠損額が昨年より少なかったため補助金を340万円減額した。

**問**

容は。

定住事業謝礼金46万7千円減額の内

**答**

当町の結婚していない若者への手立てとなるよう、相談員を設けて事業を考えていたが、関係機関との調整が取れず減額した。関係機関の受け入れ体制が整い次第、実施に向けた方向で検討したい。

**問**

ふるさと納税の寄付金は、昨年度が165万円。今年度は7万円に激減した。PRの仕方あるいは使い方に関して工夫が必要ではないか。

**答**

昨年は高額寄付者がいたが、寄付は人に強いるものではないし、予測をたてられるものでもなく難しい。ふるさと会などでもお願いしている。

## 国民健康保険事業 勘定特別会計補正予算

**問**

保険給付費が前年度と比べ、1億1千万円ほど増えている。その原因は。

**答**

新型インフルエンザの影響もあると思うが、20年度と比較して、一件当たりの入院費用額が12%上昇していることなどがある。保険給付費増加に対する国庫支出金は、12月診療月以降の上昇した分については、数字的に反映されていないため、次年度で精算される。

## 財政調整基金 条例の一部改正

**問**

改正する理由として、資金運用を迅速化させたいとのことだが、資金運用の迅速化とは。

**答**

現行の規定では「議会の承認を得て」という文言があるが、県の基金条例などではそのような文言はない。これまで繰替運用の実績はないが、今後、一時的に資金が不足し、繰替運用しなければならぬ事が生じた場合には、迅速な対応が求められることもあるので、「確実な繰り戻しの方法、期間及び利率を定めて」と改正したい。  
※繰替運用：基金から他会計へ貸し出すこと。

**答**

合併後、10年間で削減するという目標があり、実際は早く目標に近づいている。退職者5人に対し1人の割合で採用していきたい。事業等に支障は出ないと考えている。

**問**

1カ月に60時間を超える残業をした職員に対しては、勤務時間外に振り替えるところがあるが、その結果、業務に支障が出ると考えられないか。

**答**

人事委員会の勧告によるものだが、多くの時間外勤務をした職員に対しては、健康管理の面からも代休として与えるということである。概ね2ヶ月以内の範囲で取らせたいので、業務には支障はないと考えている。

**問**

このまま職員を減らしていくと、事業やサービス等に支障がでるのではないか。

## 職員定数条例の一部改正

# 下水道料金値上げの前に 未納・滞納解消を



堺谷 房子 議員

**堺谷** 下水道料金値上げを  
するとのことだが、  
脆弱な経営基盤改善のため、  
安易な値上げをすべきでない。  
加入率50.1%と低い加入者  
に更なる負担を強いられること  
は、ますます加入率が上がら  
ない結果となる。  
まずは不明水の解明と解決  
を急ぐことと、なにより特定  
地区2社による大口滞納者か  
ら滞納金を回収することが先  
決と考える。この2社は現職  
町会議員の関係企業との指摘  
もあるがそうなのか。  
また、この2社が滞納額全  
体の93.2%をも占めるとても  
ない現実、これらを未解決の  
まま善良な加入者に赤字解  
消のための値上げをしてはな

らない。特に八竜地区におい  
ては、水道料金とダブルの負  
担増になる。

今回も資金不足比率改善の  
ため、約6千700万円を下水道  
会計に繰り出す、基準内で  
あれ基準外であれ、底なしに  
つき込んで良いわけではな  
い。

下水道事業は公営企業とし  
て独立採算制の原則が課せら  
れていることから、非効率  
な経営によって生じた赤字補  
てんは、本来認められるべき  
ではないし、地方財政法の趣  
旨に反する。大口滞納を認め  
てきたこと自体、非効率的経  
営と言わざるを得ない。

今後、町民の理解を得るの  
に、どのような説明や方法を  
取るのか。また大口滞納者へ  
取る対応は。



## 町長

町民の理解を得る方  
法として、赤字経営  
を解消することと、不明水の  
発生原因を解明し、流域下水  
道の負担金軽減を図るととも  
に、滞納繰越金を減じる。こ  
れらを重点的な対策として、  
加入促進と合わせ遂行し、水  
洗化率を70%以上にしなけれ  
ばならない。

加入率を高めながら下水道  
会計の経営状況にかんがみ、  
適正な料金を考慮する。

2社の多大な未納・滞納が  
大問題であることの認識はあ  
り、現職議員関係企業との報  
告も受けている。旧町時代か  
らの引き継がれてきた部分で  
あるが、責任がないわけでは  
ないし、漫然と繰り返しては  
なんの解決にもならない。

法的強制手段についても、  
町全体として別の面のダメー  
ジがあるかも知れないとの中  
で躊躇してきた。町の中で占  
める観光的価値が損なわれる  
のではとの二律背反の中で苦  
しんできた。

## 堺谷

強制手段をすぐにと  
は言っていない。な  
ぜ条例での取り決めどおり遵  
守してこれなかったのか。議  
員関係企業であればなおさら  
のこと、三種町の苦しい財政  
をいち早くキャッチしている  
はず。

観光的価値と言うが、価値  
観で評価するならば、今、子育  
てが一番の価値ではないか。  
子育て支援と言いつつ、支  
援的補助金や、各種団体の  
微々たる補助金さえも削つて  
いる状態で、税金を使うこと  
は町民感情からしても許され  
るものではない。

## 町長

毎年、文書での返済計  
画等を提出させ、未  
納・滞納額減少の約束をして  
きたが、守られないどころか、  
増えている。両社とも議会で  
の反応を厳粛に受け止めても  
らい、なお改善の方向に進ま  
ない場合、条例・法に基づいた  
強行的手段も致し方ないかと  
思っている。

## 他に

「森林法(地域森林計画)」  
について質問しました。

# 環境問題(ゴミ処理)



伊藤 広子 議員

**町民生活課長** ゴミステーションは、容器の出し方等に条件があるので難しい。

**伊藤** 地域によって回収場所が限られている。ゴミステーション等の設置はできないものか。

**町長** 町では、スーパー等の回収ボックスに持ち込んでもらうか、燃えるゴミへ出してもらうようにしているが、リサイクルできない物もある。  
新年度作成を予定している「分別に関する冊子」や町広報紙等で情報提供をし、リサイクルの推進に努めていく。

**伊藤** 食品包装トレーを、リサイクルできないか。



1年間で集まったキャップ(湖北小学校)

**教育長** ほとんどの学校でアルキャップの回収、クリンアップを実施している。  
そのほかに空き瓶回収を3校、EM菌によるプール清掃を1校が実施している。  
ごみ処理以外の環境問題に関する実践活動では、河川の水質調査が3校、ビオトープの設置が2校で行われている。

**伊藤** 町内の小・中学生の環境への取り組みは。

い。リサイクルできる環境を検討していきたい。

**町長** 県が平成22年度から実施する「少子化対策包括交付金」を活用して、この制度を第2子まで拡大したいと考えている。(6月議会に計上予定)  
第1子については、今後検討していく。

**伊藤** 町では、第3子以降から赤ちゃん誕生祝金制度を行っているが、第1子・第2子にも実施できないか。

## 子育て支援の充実を

子育て環境については、次世代育成支援施策が必要と考え、経済的支援のみならず、地域や家庭の多様な子育ての支援、働き方に関わる施策など、総合的かつ効率的に取り組むを進めるため、「三種町次世代育成支援後期計画」を、平成22年度に向けて策定中である。

**伊藤** 町で実施している乳幼児健診への受診状況は。

**健康推進課長** 対象者はほとんど来ています。



子育て支援センター(琴丘保育園)

# 今後の町の課題は



平賀 真 議員

**平賀** 町長は任期中を総括して「地ならしの4年間」と話されているが、地ならしの完成度を伺いたい。水道料金は統一の目的が立てられたが、自治会交付金、旧町の職員の給与格差等、まだまだ課題が残されている。新町政に引き継ぐべき課題を詳細に伺いたい。

**町長** 地ならしの完成度は町民の皆様から判断いただきたい。旧町間の感情的なものや、利害の対立がないように、一体感の醸成を頭に入れながら頑張ってきたつもりである。

給食センター建設、山本地区上水道の水質改善、地上デジタル受信対策、琴丘地域小

学校統合。このほか旧3町で計画されてきたものは、全て実施したと考えている。

自治会交付金については、すぐには解決できなかった。一步一步前進しながら担当課が頑張る気持ちでいる。

また、旧町職員間の給与格差はないと認識している。

今後の課題は、行財政改革の推進・雇用・小子化・環境対策。

保育園、小中学校の統合、上水道の未普及地域への対応等を、新町長に引き継いでいきたい。

**平賀** 自治会交付金など、解へ延ばすと、時期を逸するのではないか。

**町長** 旧町の特徴的なものに時間をかけなければいけない部分もある。

## 町内の失業率と対策は

**平賀** 今年高校を卒業した生徒のうち、未就職者は何名か。

また、現在町内在住者の失業率はどの程度か。

将来、町を担う人材に対し、町ではどのような対策を立てているのか。

**町長** 町内の今年度の高校卒業生は約200名で、各校への聞き取り調査によると、就職希望者は県内が22名、県外が32名、県内希望者は1名を除いて、すべて就職先が決定している。

町内在住者の失業率は把握していないが、ハローワーク能代に就職希望をしている方は3月8日現在で334名となっている。

町の雇用対策としては、県の基金を活用した緊急雇用



ハローワーク能代

やふるさと雇用対策を実施しているが、高校生向けは特にない。

地元で就職したくても、その若い労働力を地元で吸収できないということが、人口減少の大きな要因である。

働く場の確保は、町単独ではなく広域あるいは県単位で行わなければ効果があがらないと認識している。関係機関と連携をとりながら、情報を提供していく。

# 公契約条例の制定を



伊藤 千作 議員

**伊藤** 公共事業等に携わる労働者は全国で1

千万人にも達すると言われている。官製ワーキングプアが深刻な社会問題になる中、公契約条例の制定を求める運動が大きく前進している。

全国の幾つかの自治体が取組みを進めており、地元業者と地元資材の活用並びに雇用の安定と就労の促進を図ることを実現しているところや、賃金だけでなく低落礼価格への対応を含めて、公平・公正な入札契約を目指す基本方針が策定されているところもある。

当町としても、この公契約条例制定に向けて取り組むべきだ。

**町長** この公契約に関する法律または条例の制定については、これまで国をはじめ、各地方自治体においても積極的な議論は行われていないのが現状である。昨年9月には、千葉県野田市で国内初の公契約条例が制定された。

今後とも、国の動向を見守っていくとともに、情報収集に努め、検討していく。  
※公契約条例：自治体が公共工事や業務委託を受注する元請け企業に対し、従事する労働者の賃金の最低基準額等を義務づける制度。

## 住宅リフォーム

### 助成事業

**伊藤** 当町は、昨年11月5日からこの事業を実施した。

また、今年3月1日からは、県も住宅リフォーム支援を始めた。

県の10%補助に、さらに5%から20%の上乗せをしている市町もある。当町とついで

県事業との関連性をどうするつもりか。

また、県対象7千戸から外れた分は、町独自で対応すべきだ。

## 町長

要件などが合致する部分については、併用して実施する。県事業の対象分であって、町の事業で対象となる部分については、県事業の10%に町の5%を上乗せして助成する。

## 企画振興課長

県の補助は50万円以上の工事が対象であり、20万円から50万円までの工事は、町の対象事業として従来の15%の助成となる。



15%補助でリフォームを

## 子宮頸ガン

### 予防ワクチン接種に

### 助成を

## 伊藤

近年、子宮頸ガン予防ワクチンが開発され、接種によって将来的なガンの発症数を減らすことが期待される。日本でも承認されたが、任意接種であり、3回の接種に合計5万円前後の費用が必要である。

子宮頸ガンは、20代から30代のガンのうち、死因の第1位。45歳以下の女性の死因第2位となっている。

思春期前女子に対しての接種は非常に効果が高いことが証明されている。

当町として、助成を考えるべきだ。

## 町長

国に対し、少子化対策の一環として、公費負担によるワクチン接種の制度化を求めていく。

# 国保会計の現状は



**清水 欣也** 議員

- 清水** ①後期高齢者医療、前期高齢者医療、退職者医療等の制度の新設・改廃が、わが町の国保財政にどのような影響を与えているか。
- ②平成18年度、19年度、20年度の各年度で、国の医療費全体とわが町の国保の保険給付費の伸び率はそれぞれどうであったか。
- また、21年度見込みはどうか。
- ③平成21年度の決算はどのように見込んでいるか。
- ④国保会計の今後の課題はなにか。

**町長** ①医療制度の改正によって、拠出金や支援金が少なくて済むことになったことや、国からの交付金が多く来ることになったことなどにより、一般的にはプラスの財政効果があるとされているが、平成22年度にならなければ財政効果のしつかりした判断は難しいと考えている。

②国の医療費の伸び率を前年度と比較してみると、18年度0.1%、19年度3.1%、20年度1.9%である。

一方、国保の保険給付費の伸び率では、18年度6%、19年度4.8%、20年度△6.7%で、21年度は推計で10.0%となっている。

③国保の医療費全体が大きく伸びていること、その中でも高額医療費が大幅に増えたことによつて、平成21年度の決算は非常に厳しいものになると考えている。

④各種検診率の向上による疾病の早期発見、早期治療、特定健康診査受診率の向上など

め細かな対策をとつていくことが、今後の課題だと考えている。

## 給食センターの運営状況と今後の方針は

**清水** ①給食センターの統合による経費削減効果は、当初の計画では年間で2千300万円ということであったが、20年度の1年間の削減実績はいくらであったか。

②地元野菜の使用率はどのくらいか。また、使用率を高めるための方策はあるか。

③給食事業の民間への委託は考えているか。

**町長** ①20年度において976万円を削減できた試算している。

②地元野菜の使用率は、平成21年12月末現在で53.1%である。

今後使用率を高めるには、中長期的に使用が想定される食材の品目や数量に関する情報を共有するなど、生産者と一層の連携を図っていくことが必要と考えている。

③県内においても学校給食業務の一部を民間に委託するケースが増えており、本町においても給食業務の効率化をさらに進める観点から、今後検討したい。



1日約1,500食を調理

# 転作物へ 町独自の支援を



大澤 和雄 議員

**大澤** 国の水田利活用自給力向上事業が導入されるのに伴い、転作物の交付単価が前年度より下回ることから、国においては激変緩和措置として当町には2千611万円交付されることになった。また県でも緊急対策として当町に1千400万円交付されることになった。これによって振興作物や大豆には、それぞれ追加助成されるが、それでも22年度は前年度より4千円ほど助成金が下回ることになる。

横手市では独自に助成することを決めている。本町でも21年度の産地確立対策の助成金と22年度の助成金の差額の一部を支援するべきと考えるが、対応は。

**町長** 現時点では、今後農家がどのような計画なのか把握できていない。現在、集落座談会を行っている。販売農家からは、これから平成22年度水稲生産実施計画書を出していただき、3月末を目途に取りまとめることになっている。その中で、どのような作物を作付けするのか集約した上で判断することにした。



転作大豆

## 新規定住者へ 職のあつせんを

**大澤** Uターン、Iターンなどの新規定住者に対する支援として、住環境とともに、職のあつせんを希望されたときに対応できるかどうか重要な課題であると考えている。当町では昨年より、ふるさと緊急雇用対策事業や緊急雇用臨時対策事業などで町内失業者の雇用確保に努めている。これらの事業や町の業務従事者募集に当たっても積極的に雇用確保に努めるべきではないか。

本町の若者の流出を防ぐための定住対策と同時に、県外からのUターン者等に、就労の機会を積極的に優先して支援していくことが必要ではないか。

**町長** 若いUターン者などにとって就職が一番大きな要件の一つである。ふるさと雇用については継続雇用を前提としているので難しい。緊急雇用については今年度もハローワークを通じて募集する予定である。

いずれ、町内でも多くの就職希望者がハローワークに登録している現状であり、Uターン者等に優先的に町で職をあつせんするということは、現状では困難であるが、関係機関と連携をとりながら、就職希望者への情報などを提供できるように、努めていく。

他に

「交通環境の整備について」質問しました。

# 臨時会

## 第1回

日時：平成22年2月3日(火)

原案  
可決

### 平成21年度一般会計補正予算

●5億5,105万円の追加

原案  
可決

### 平成21年度特別会計への繰り入れ(2件)

原案  
可決

### 平成21年度特別会補正予算案(4件)

原案  
承認

### 専決処分の承認(自動車損害賠償)

原案  
承認

### 専決処分の承認(平成21年度一般会計補正予算)

●除雪費の追加：1,800万円

原案  
可決

### 工事請負契約の一部変更

●契約目的：農業集落排水事業下岩川地区第03401号工事の  
工期延長(平成22年3月10日→4月30日)

原案  
可決

### 三種町公共下水道事業経営健全化計画を定めることについて

※起立採決の結果(議長除く)、賛成18、反対2により可決

## 地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業

※主な内容

事業名	事業費
地デジ難視聴解消 ケーブルテレビ	2億6,565万 円
琴小体育館耐震補強工事	501万1千円
簡易水道施設修繕	781万4千円
山本地区配水池設置 (単独かさ上げ分)	1億4,786万9千円
町道8路線・交通安全施設	3,950万 円
下岩川・森岳保育園 屋根塗装工事	777万6千円
合 計	5億2,101万9千円

## 請願陳情審査報告

### 請 願

件 名	請願者 氏名	紹介議員	審査委員会	結果
米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める請願	農民運動秋田県連合会 委員長 佐藤 長右衛門	伊藤 千作 大澤 和雄	産業建設常任委員会	採択

### 陳 情

件 名	陳情者 氏名	審査委員会	結果
最低賃金の大幅引き上げと、全国一律最低賃金制度確立を国に求める意見書採択を求める陳情書	秋田県春闘共闘懇談会代表委員 中村 秀也 秋田県労働組合総連合議長 佐々木 章	総務常任委員会	採択
「県営担い手育成基盤整備事業久米岡地区償還金に対する支援の陳情書」	三種町鶴川土地改良区理事長 成田 和保	産業建設常任委員会	継続審査
非核三原則の法制化を求める議会決議・意見書採択についての陳情	秋田県原爆被害者団体協議会会長 小山 春雄	総務常任委員会	採択
鳩山首相は、名護市長選挙で示された民意を尊重し、「公約」を守ることを要請する意見書について(陳情)	秋田県平和委員会理事長 風間 幸蔵	総務常任委員会	採択
当地区における温泉水の安定供給のお願いについて(陳情)	温泉別荘自治会会長 大高 富夫	産業建設常任委員会	採択
三種町下水道特別会計未収金、滞納金の早期回収について(陳情)	温泉別荘自治会会長 大高 富夫 会計 藤嶋 文芳	総務常任委員会	採択

# 所管事務調査と現地視察を終えて 教育民生・産業建設常任委員会

## 【教育民生常任委員会】

### 調査の日

平成22年2月12日(金)

### 調査内容

#### 現地視察

#### ● 琴丘中学校耐震改修工事了に伴う視察

#### ● 琴丘・森岳小学校、山本・八竜中学校耐震診断結果に基づく視察

琴丘中学校耐震改修は、現地において設計・工事関係者から耐震補強について説明を受けた。工事内容は耐震強度を確保するため、校舎棟は壁に鉄骨ブレース(筋違)を入れ、柱に炭素繊維巻き(SR-CF工法)で補強、屋内体育館は既存ブレースの取り替えと、ブレースの増設で耐震基準をクリアしているとのことであった。

その後、校舎内外と体育館の視察を行い、校長から「おかげで校舎全体が明るくなり、生徒や教職員、そして父兄の方々が大変喜んでいられる」との報告を受けた。

耐震診断結果報告された琴丘・森岳小学校、山本・八竜中学校の順に視察を行い、各小中学校の耐震強度を診断した設計担当者や教育委員会より、現時点での強度と補強した場合の強度との比較、国・県の補助金や採択基準等の事務手続きについて説明を受けた。各施設とも目視だけで確認はできないが、

検査結果において強度が基準に達しない施設もあると指摘されており、年次計画等により対応が必要であると思われる。

また、今回建設年度等の関係で診断を行わなかった施設についても、調査が必要であると考えられる。



琴丘中学校1階廊下

## 【産業建設常任委員会】

### 調査の日

平成22年2月17日(水)

### 調査内容

#### 現地視察

#### ● 下岩川地区農業集落排水資源環境施設

#### ● 浜田釜谷19号線道路改良工事

・下岩川地区農業集落排水資源環境施設(処理施設)については、天候不順や工事現場の土壌に問題が発生し、工期内完成が危ぶまれるとの説明であった。不測の事態で完成が遅れるのは致し方ない面もあるが、早期の事業発注で回避できる場合も推測されるので、今後工事発注については充分考慮されるべきである。

・浜田釜谷19号線道路改良工事は順調に進められていた。道路幅員も確保されており、完成後は利便性の高い幹線道路と期待できると思われる。

## 所管事務調査

農林課・建設課・上下水道課から平成21年度主要事業等の進捗状況について説明を受け質疑を行った。業務は概ね順調に推移していると受け止めた。

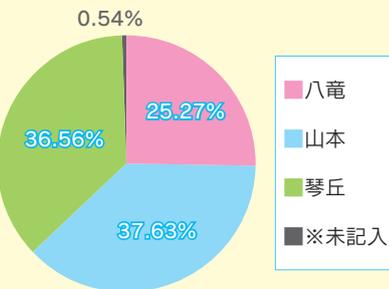


# 議会だよりアンケート結果

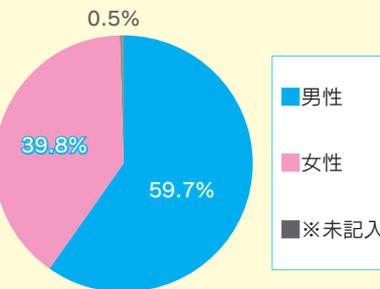
アンケートにご協力ありがとうございます。

186名の皆様から回答を頂きました。「その他の意見」での様々な意見・提言は、今後の議会広報編集に必ずや活かされるものと確信しております。

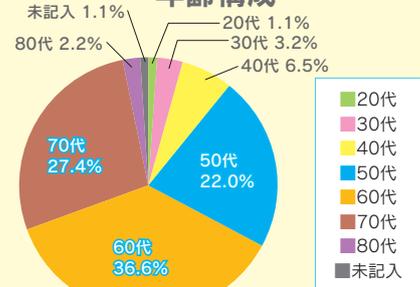
回収枚数による各地域の割合



男女の割合



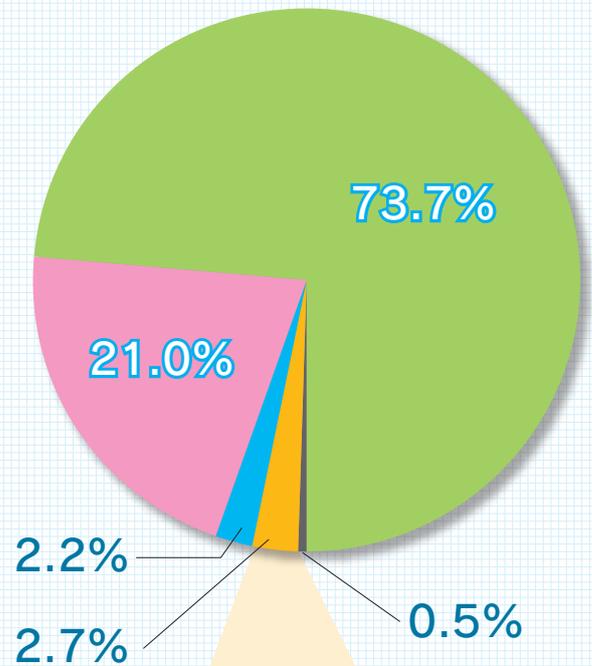
年齢構成



## 問1

議会だよりを  
読んでいますか。

- (1) いつも読んでいる
- (2) ときどき読んでいる
- (3) ほとんど読まない
- (4) まったく読まない
- ※未記入



### 問1で(4)まったく読まないを選択した理由(複数選択可)

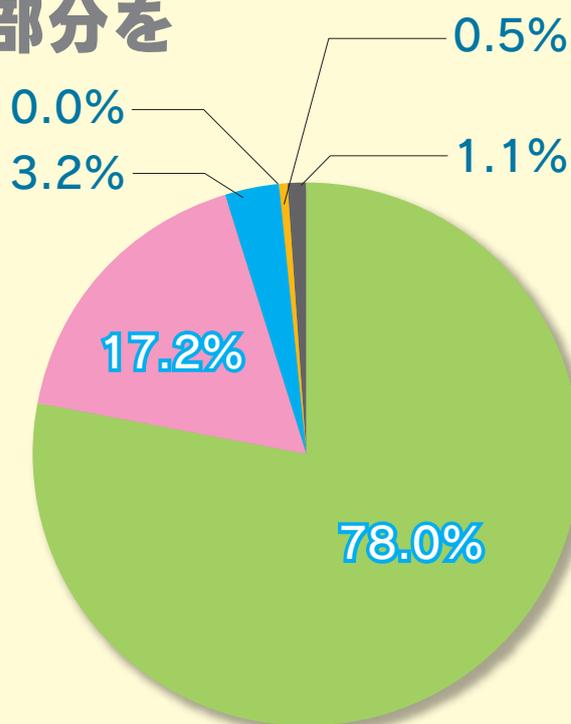


「発行が遅い(編集委員に難儀をかけるな) 男性 60代」の意見がありました。

問2

議会だよりのどの部分を  
読んでいますか。

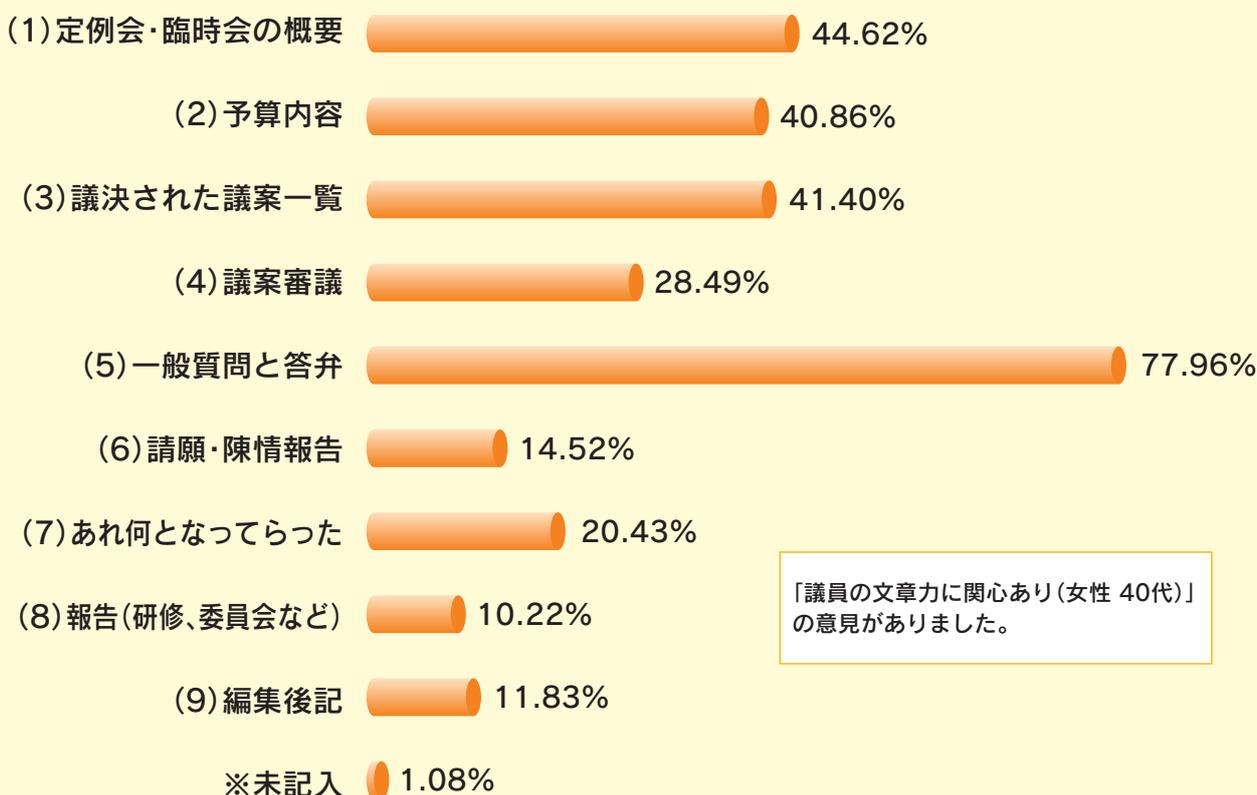
- (1) 全般にわたって読んでいる
- (2) 関心のある部分だけ読んでいる
- (3) 支持している議員に関する部分  
を読んでいる
- (4) 特集記事だけ読んでいる
- (5) その他
- ※未記入



(5)「特に予算について(男性 60代)」の意見がありました。

問3

議会だよりのどの部分に  
関心がありますか。(複数選択可)

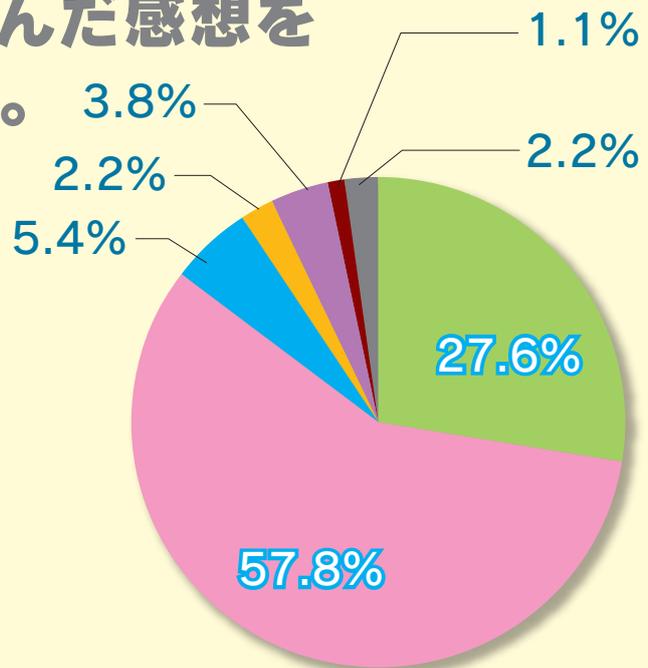


「議員の文章力に関心あり(女性 40代)」  
の意見がありました。

問4

議会だよりを読んだ感想をお聞かせ下さい。

- (1) 議会や町の考え方、議員のことがよく分かる
- (2) 議会や町の考え方、議員のことがある程度分かる
- (3) むずかしい
- (4) 分かりにくい
- (5) つまらない
- (6) その他
- ※未記入



(6)「もう少し地域につながりがあれば、身近に感じられると思います(女性 50代)」の意見がありました。

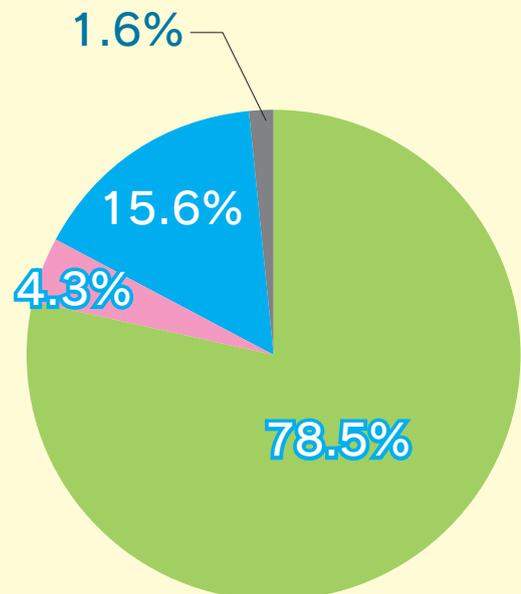
問6

あなたの他に読んでいる方はどなたですか  
(複数選択可)



問5

議会だより発行について



- (1) 継続すべき
- (2) 廃止すべき
- (3) どちらでもよい
- ※未記入

# その他の意見

重複する意見もありますが、民間企業に関する意見1件を除き、全て原文のまま掲載します。

※並びについては順不同です。

地域	性別	年代	意見等
八竜	男性	50	議員の一般質問のレベルが低い。事務方に聞けばたりるようなもの、自分の身近なもの、本当にレベルが低い。あの質問程度で町の代表だとすれば、選挙民から選ばれた人としては嘆かわしい。議員でも何とも思わないのか。わざわざ顔写真をつけて載せるものではないと思われる。誰一人として、町発展を考えた質問はしないのか。
八竜	男性	70	行政や議会関係の専門用語の使用はできる範囲で制限し、一般町民がわかる日常用語に変えるか、( )をつけて解説するなどの配慮がほしい。
琴丘	男性	60	1) 議会選出の監査委員は、監査した内容について広報で住民に知らせる義務はないのか。 2) 町政執行者のチェック機関として、議会の対応は主体的に取り組んでいるとは思えない。
琴丘	男性	50	議会だよりを廃刊するなら(予算を削るため)、ホームページ上へUPするとよい。若い人がもしかしたら目にするかも。
琴丘	男性	60	・議会中の傍聴人員をできればお知らせいただければよいと思う。 ・町への指名願いの項目及び件数をお知らせいただければよいと思う。
琴丘	女性	50	身近な話題ですと関心を持って読もうと思いますが、それ以外ですとなかなか深く読む事が出来ません。途中で議会以外の話題を取り入れて、楽しく面白い紙面づくりを希望します。
琴丘	男性	70	一般質問などには興味ない。
山本	男性	60	議会の質問者が、いつも同じ議員に思われる。他の議員は仕事をしているのか分からない。議員が多いのではないか。
山本	男性	70	一般質問と答弁についていつも同じ議員さんの質問のように思います。もしできれば、全議員さんからの質問があってもよいのでは。
山本	男性	30	きちんと議員みずから編集しているとは思えません。委員会を作って発行する以上、委員みずから作るべきと考えます。
山本	女性	70	旧町時代より数字が分かりやすく表示しているの、分かりやすいと思います。
山本	女性	60	議会だよりは、右開きで大変読みやすいと思っています。 町の広報や社協だよりなどは左開きで、私は嫌いです。 町の印刷物はすべて右開きに統一されたら良いのにと感じています。
山本	男性	60	地区の要望を取り上げてほしい。議員定数が削減され、地区の声が届くか心配です。
山本	女性	50	議会だよりを発刊に協力している皆様、ご苦労様です。毎回読んでいますが、分からない所は主人に聞きますけれども、はっきり言って難しいです(内容)。これからもよろしく願います。
八竜	女性	60	1. 議会の傍聴・新聞等で拝見する限り、質問者が固定化されている感じです。 今後は、全員の頑張っている(考え)姿を見せて欲しい。 2. 議員の日常活動が町民の目に見えるように、議会だよりを活用して欲しい。議員から町民へのアドバイス・励ます・慰労(労い)等もあって欲しい。ページ数を増やしてもよいと思います。(議会広報編集も輪番制を希望) 3. 「人の命の大切さ」を本町でどれくらい重要視しているのか? 特に、自殺予防対策に対して、議員さんたちの間で話題にし、取り組みを一刻でも早い対応を望みます。 4. 町の施設の維持管理にも目を向けて、補修・修理・改善をして欲しい。 (戸や窓・網戸・障子・壁・水洗トイレ化など→傷は小さいうちに) 5. 町の財源が厳しい時にこそ、身を削る覚悟で財政の立て直しを考えて欲しい。 (財源の捻出方法はいろいろあると思います) (月給制を日当制にできないか? 又は賞与の返上を考えられないか?) 6. 選挙時に、各自が掲げた公約(目標)を忘れていませんか。 (時々見るのも、町民はあなたを見ています→初心忘れるべからず) また、広報だよりに各自の掲げた内容を一覧表にするのもいいのかな。 以上を勝手ながら申し述べさせていただきます。「寸善尺魔」

地域	性別	年代	意見等
八竜	女性	40	<p>議会だよりを読むことにより、議会を傍聴しなくてもある程度内容が分かるので、これからも継続して発行してほしい。</p> <p>○一般質問について 中には、こんな事も質問するかというような、どうでもよいような内容の質問をしている議員もいて、議員のレベルの低さを感じる。議員の皆さんには、もっとスキルアップしてほしい。また、任期中、一度も一般質問をされない議員もいるが…</p> <p>○役場職員について 窓口に行っても、すぐ来客に気づかない職員が多い。こちらから「すみません」と声をかけても聞こえないのか、パソコンから目を離さない職員が多い。金融機関や他の役所でも、窓口となるとはお客さんに向けて座っている。机の配置を考えるべきでは？ また、職員は、庁舎内で町民とすれちがっても挨拶をしないし、感じが悪い職員が多い。</p> <p>○職員採用試験について 三種町職員採用試験は、学歴に関係なく初級試験（高校卒業程度）となっている。そして採用後、大学卒業者は大卒の初任給が支給される。 初級試験合格なら、高卒の初任給が支払われるべきではないか？（三種町では大卒の学力はいらぬわけだから…） そうではなく、大学卒業者は少なくとも中級試験以上を受けるべきだと思う。県内の市町村役場をみても、大学卒業者は中級試験か上級試験を受験し、初級試験はありえない。</p> <p>○議会議員選挙について 選挙前に立候補者による公開討論会の開催を希望する。 選挙カーで車を何台も連ねて交通の妨げになり、ただただ自分の名前を連呼し騒音をまきちらすのは、町民にとって迷惑そのもの。普段なら許されない行為なのだが。 それよりは公開討論会でそれぞれの意見、考え方をしっかり述べてもらい、選択の参考にしたい。 ※人前で自分の意見も言えないような議員は論外です。 議会議員、町長はじめ職員のスキルアップと職務に対する意識改革、職員の公務員としての自覚がないかぎり、三種町は発展しないと思う。</p>
琴丘	男性	50	<p>議会だよりを毎回楽しみにしておりますが、町の広報にも同じような記事があるように思われますので、町の広報と議会だよりを一括に集約出来るのではないのでしょうか。集約することにより経費の節減ができ、節減される経費を町民にいちばん重要な経費に対応していただければと思います。</p>
山本	男性	60	<p>全議員の質問を載せて下さい。片寄りがちに思う。</p>
山本	男性	50	<p>議会の意味が感じられません。議会だよりは金の無駄なので廃止すべきと思う。</p>
山本	男性	50	<p>読んだら保管するのではないので、簡易な用紙（コピー等）でいいと思う。</p>
山本	男性	60	<p>紙面をカラフルにしたら、もう少し読みやすくなると思われます。</p>
山本	男性	70	<p>議会だよりが16号になったが、編集が相当向上した。編集委員の皆さんの努力を認めたい。いつも疑問に感じることは、議会での質問者がほぼ固定していることだ。町民の代表として4年間にせめて、1～2回位は学習の成果を見せて欲しいもの。全議員の議会での活躍状況を何らかの形で知りたいものだ。次号から工夫して、実現して欲しい。</p>
山本	女性	70	<p>これからは【問1 いつも読んでいる】に○印をつけれるよう、努めたいと思います。</p>
八竜	女性	40	<p>三種町広報の中に記事があるのでいらぬと思う。お金のムダ使い。</p>
不明	不明	不明	<p>議会だよりは継続して下さい。議員の方々を、色々分かって良いと思います。</p>
八竜	女性	60	<p>三種町の将来についての議論が足りない。 議員諸君も町当局にレベルの高い提言を期待する。 公債費比率を下げる議論、税収の増やす議論と提言を期待する。 町民は日常の行動、活躍を注意深く見ております。</p>

# 議会だよりアンケート結果

地域	性別	年代	意見等
八竜	女性	50	議会だよりは必ず読んでいます。 これからも続けて発行して頂きたいと思っています。
八竜	男性	60	難しい漢字に仮名と意味を。又、英会話には日本語説明。
琴丘	女性	50	選挙の時、議員全員の紹介がありますが、他の地域の人の事は殆どわかりませんので、一人ずつプロフィールなど、各号でもう少し詳しく紹介していただけないでしょうか。 また、地域の話題など取り上げる記事も少しあれば、より身近に感じられると思います。
琴丘	男性	80	出来るだけ町行政について詳しくお知らせ下さるようお願いします。
山本	男性	40	一般質問がいつも同じ議員さんだけがしているように思う。何かつまらないように感じる。
山本	女性	60	一度も質問しない人もいるのでは。議会だよりで顔見たことのない人もいる。
山本	女性	60	合併をして私の住んでいる山本地区は、過疎に進んでいる様に感じる気がします。そういう格差にならない様に議員さんにはがんばってほしいと思います。
琴丘	女性	70	○紙面の活字について 議会の質問、答弁は「たて」、ところどころが「よこ」書き 統一した方が読み易い。ちなみに、広報「みたね」、「社協だより」等は「よこ」に統一しております。 ○議会傍聴に行けない人にとっては、「議会だより」大変結構です。
八竜	男性	70	いつも同じ議員の質問のようですが、その他の議員の質問もお願いします。
山本	男性	50	議員全員の顔が見える様にしてもらいたい。公約をどの様に議員活動したかを、町民がわかる様にしてもらいたい。
山本	女性	50	身近な一番関心がある我が町だから、いい広報だと思う。
八竜	女性	60	紙面に空白の部分が多くあるので、記事配置の工夫をしながらもっと町民に知らせたい記事盛り込むとか、ページ数を減らすとかしたらどうか。
八竜	男性	50	アンケート用紙1枚紙だけでは、封も出来ない。
琴丘	女性	60	いつも楽しくお聞かせ、読ませて頂いています。 私は山の下、未だに長靴くぐるくらいの雪があります。国道7号線沿いは何もなくて、山、畑、いろいろな仕事も出来ます。田んぼも気持ちよく働けると思います。山の中の田んぼは一度見てみて下さい。まだ、田んぼのくろが見えません。山の中の人の暮らしも働けるような話も一度してみてください。
琴丘	女性	60	お願い：昨年ミュージカルを残念ながら見られませんでした。今年も出来ればやってもらいたい。赤字であればいいです。
琴丘	男性	60	一般質問と答弁、要約して下さい。
八竜	男性	40	質疑応答の内容が大まかではあるが、知ることができるのは良いことだと思います。 中にはもっと深く知りたいと思う事案も出てきますが、「議会だより」としては記述内容もここまでが限界かと思っています。その後の進展については、ある程度興味を持って見守ることもあります。
琴丘	女性	70	表紙の写真提供吉田さんには感謝している。1P~20Pぐらいの議会だよりですので見やすい。
八竜	女性	70	議会だよりでは、質問と答弁が主ですが、それと共に議会の決まったことが町民に有意義に実現されている声も記事として載せたら、町民の目ももっと議会だよりに向くのではないと思う。 議会だよりを編集するには大変な労苦と思いますが、頑張って発行していただきたい。
琴丘	男性	60	議会だよりの一般質問と答弁に1回も登場していない議員もいます。それでも議員活動しているのでしょうか。その議員はどのような活動をしているのか知りたいです。

熱い議論、  
琴丘小児童が傍聴



3月議会定例会の最終日にあたる12日に、琴丘小5年生38人が議会の傍聴に訪れました。

これは社会勉強の一環として行われたものであり、児童の傍聴は合併してから2度目となります。

議会の傍聴席は20席しかないため、議場内に臨時に設置したパイプイスでの対応でしたが、児童たちが傍聴した約40分間には、議員から当初予算案に関する質問が出され、そのやりとりを緊張しながらも真剣なまなざしで傍聴していました。また、学校の運動会費の質問が出された際には、メモを取る姿が数多く見受けられ、議会での真剣な議論を間近で感じていました。

自治功勞で表彰



平成22年2月25日、大澤和雄議員が、町村議会議員として11年以上在職し、地方自治の振興発展に寄与した功績により、秋田県町村議会議長会から表彰されました。



議会事務局人事異動

(平成22年4月1日付)

主査 内藤 英子(農林課農政係から)  
主席主査 近藤 恭子(学校給食センターへ)

編集後記

昨年「ウソ」という名の鳥の被害で、我が家の桜はま・だら咲きだった。今年「ハト」による「ウソ」(公約違反)の被害が囁き始められているが、沖繩の人たちが納得できる結論が出ることを望んでいる。

さて、私見ではありますが、広報編集は議会の復習だと感じており、4年間大いに学ばせて頂きました。「読みやすさ」「わかりやすさ」を念頭に置きながら、レイアウトや文字数など、広報委員会として試行錯誤を重ねてきましたが、町村議会広報全国コンクールの入賞作等を拝見しますと、改善すべき点が多々あると痛感しております。

素晴らしい写真を提供していただいた吉田博光さんと、事務局の皆様の支援に感謝しつつ、改選後の議会だよりも御愛読下さいますようお願い申し上げます。

加藤 彦次郎 記